

令和3年度 渋谷区立笹塚小学校 学校経営方針

校長 荒木 憲秀

【教育目標】

- 互いの違いを認め 高め合う子
- 主体的に学び 創造する子
- 心身をきたえ たくましい子

〈重点目標〉

変化の激しい時代をたくましく生き抜くために、主体的に学び、他者と協働して新しい価値観を創造し、自分の個性を伸ばすことのできる子供の育成を目指す。

【学校経営の基本方針】（3つの柱と取組目標、具体的な取組）

1. 健やかな心と体

- ・ 違いを認め合い、思いやりをもって、自分も友達も大事にできる子供を育てる。
 - ➔ 日々の学級指導で互いのよさを見付け合い、温かな言葉をかけ合う風土を醸成する。
- ・ 子供一人一人の心に寄り添い児童理解に努め、組織でいじめや差別、不登校を防止・解決する。
 - ➔ 学年の教員・生活指導部、SCや関係機関とこまめに情報を共有し、サインを見逃さない。
- ・ 考え、議論する「特別の教科 道徳」の時間を中心として、心の教育の充実を図る。
 - ➔ 道徳推進教師を中心として、道徳授業の充実やより効果的な評価の在り方を検討する。
- ・ 自分の体力や健康に関心をもち、日常的に運動に親しもうとする子供を育てる。
 - ➔ 運動能力調査結果の活用や笹リンピックの活性化、保健指導・食育指導の充実を図る。
- ・ きまりを守り、あいさつや返事がしっかりできる子供を育てる。
 - ➔ 返事・あいさつの徹底や廊下歩行等、生活指導と特別活動の両面からアプローチする。
- ・ 行事や学級活動などに主体的にかかわり、よりよくしていこうと工夫する子供を育てる。
 - ➔ 活動の事前指導・事後指導を充実させる。特別活動部を中心に、指導の充実を図る。
- ・ 日本および諸外国の歴史や伝統について知り、大事にしていこうとする子供を育てる。
 - ➔ 伝統文化体験を積極的に取り入れ、外国語(活動)とリンクさせ、発信する活動を行う。
- ・ オリンピック・パラリンピック教育を通じて、挑戦する心やボランティアマインドを育む。
 - ➔ オリンピアン・パラリンピアン招聘・パラ競技体験等、大会に向けた取組の充実を図る。

2. 確かな学び

- ・ すべての子供に「聞く力」をしっかりと身に付けさせ、「学ぶ姿勢」を育てる。
 - ➔ 「聞く」ことは学びの基本。発達段階に応じた「聞く力」を確実に身に付けさせる。
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進、探求型の学びの充実を図る。
 - ➔ 相互参観を活性化させ授業改善を推進、また研究推進部を中心に校内研究を充実させる。

- ・学習の様々な場面で、デジタル教科書を含めたタブレットの一層の活用を図る。
 - ➡ 思考を広げ深め共有する協働的な学び、また個別最適な学びのツールとしてフル活用する。
- ・タブレットをはじめとした ICT 機器や情報を、正しく活用する力を育てる。
 - ➡ 学年の発達段階に応じて、ICT リテラシー・モラルに関する指導を計画的に実施する。
- ・担任+1の人材を活用し、算数の習熟度別学習の充実を図る。
 - ➡ 習熟度別少人数指導や TT 指導の充実を図り、より個に応じたきめ細やかな指導を行う。
- ・特別な支援が必要な子供たちの学びを、様々な組織・人材を活用して支える。
 - ➡ コーディネーター・専門員を中心に、関係職員間・組織間の連携を強化し指導にあたる。
- ・発達段階に応じた英語活動や英語学習を充実させ、豊かな国際感覚を育む。
 - ➡ TGG での体験や ALT の活用を通じて発話を十分に楽しみ、また、国際理解推進を図る。
- ・学校図書館を活用して読書活動や調べ学習を充実させ、読む力や考える力を育てる。
 - ➡ 図書館専門員の専門性を生かした学習支援、図書ボランティアの活動を拡充させる。

3. 地域の学校

- ・学校運営協議会を通じて教育活動を地域に開き、また地域の教育資源を有効に活用する。
 - ➡ コーディネーターの役割を明確にし、人材を集め地域学校協働本部を設置する。
- ・「シブヤ科」の取組を通じて、渋谷シティプライド・笹塚タウンプライドを育む。
 - ➡ 総合を核として、各教科等の学びをつなげたユニット学習でシブヤ科を本格始動させる。
- ・各家庭としっかり連携して、基本的な生活習慣や家庭学習の定着を図る。
 - ➡ 保護者の不安には迅速に対応、またタブレットの活用を含め家庭学習習慣の定着を図る。
- ・近隣の幼稚園や保育園、中学校との連携を進め、切れ目のない学びの接続を目指す。
 - ➡ 幼保小・小中連携の、さらなる充実を図る。学びを意識した互惠性のある連携を目指す。
- ・学校を拠点として、地域の方々と共に安全・安心なまちづくりに取り組む。
 - ➡ 地域の防災・防犯組織との連携を強化し、学校における防災教育や安全教育とつなげる。
- ・学校だよりや学校ホームページの内容を充実させ、情報の発信・共有に努める。
 - ➡ HP や H&S での情報発信に力を入れ、地域・保護者にとって有益な情報発信を行う。
- ・働き方改革に取り組み、サービスの厳正に努め、地域に信頼される学校づくりを進める。
 - ➡ ICT も活用して校務改善を推進する。また計画的にサービス研修を実施し啓発を行う。